

台風第25号の土砂災害から確認された課題と 今後の対策の方向性について

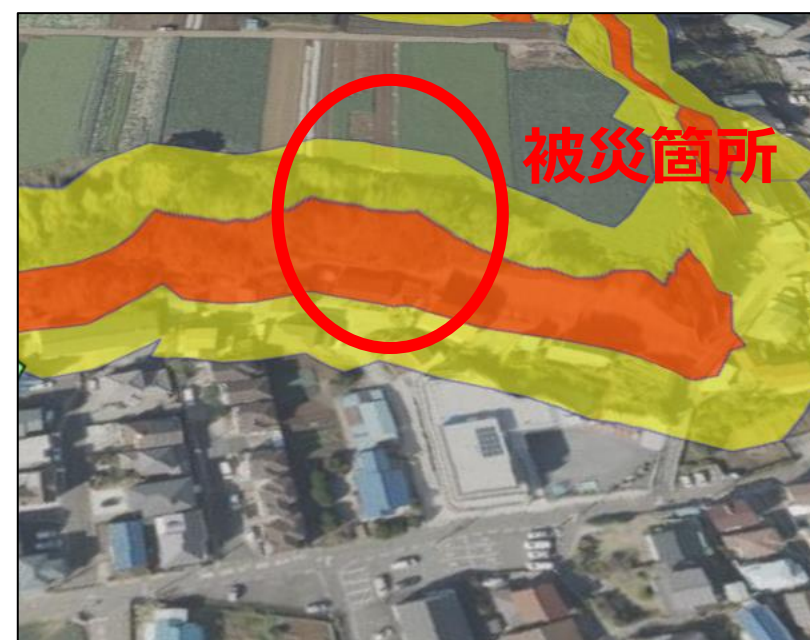
令和8年10月8日

【振り返り】

- ・今回のがけ崩れは土砂災害警戒区域等に指定されている箇所で多く発生している
- ・レベル4 土砂災害危険警報の発表に伴い、市町から土砂災害のおそれのある区域に「避難指示」が発令されていたものの、避難をしていなかった方が被災



被災状況



県土砂災害ポータル（3Dマップ）

【振り返り】

- ・今回の大規模ながけ崩れが発生した箇所の多くは、斜面上部が農地の箇所で発生
- ・記録的な降雨によって、水を含みやすい土壤に大量の雨水が浸透し、斜面が崩落した可能性



〔三浦市初声町和田〕



〔三浦市南下浦町上宮田〕

【振り返り】

- ・県が急傾斜地崩壊対策工事を行う要件を満たさない宅地が被災
- ・擁壁などの防災工事を個人が負担するには高額である。一部市町で支援策は用意されているが、促進させるためには更なる財政支援が必要



[横須賀市長井1丁目]

課題① 土砂災害のおそれがある区域の避難行動

⇒市町村と連携しながら、SNSなどの媒体を活用し、土砂災害警戒区域の事前確認や、「いのち」を守る避難行動の必要性を発信する取組を強化

課題② 斜面上部が農地の箇所で土砂災害が発生

⇒土砂災害発生の原因を改めて検証したうえで、県土整備局と環境農政局が連携して対策の強化を検討

課題③ 県の工事対象外の宅地の防災について

⇒国に対し、個人が行う宅地防災工事に対する補助制度の創設を要望